

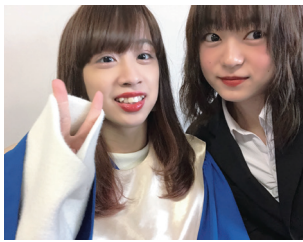


生徒一人一人を大事にする校風の中で、中国の伝統芸能「変面」の活動を続けました。

2022年度卒業生 潘彩華さん  
(活水高等学校出身)からのメッセージ  
(**(株)長崎国際テレビ**に就職が内定しました。)



活水大学での4年間を振り返って、自分の成長の糧となったことは**少人数クラスでの英語の授業**だと思います。授業ではディスカッションやグループワークを通して英語で自己表現、意見交換をする機会を設けたり、プレゼンテーションを行ったりと自主的に取り組まなければいけない環境が揃っており、成長を妨げる要因となる自らの殻を破って、次第に恥ずかしがらずに挑戦することができるようになりました。少人数クラスの特長としては、全員で参加することができる授業だからこそ、クラスメイトの斬新な意見に感化されたり、先生に指導してもらったりする中で**新たな視点で物事を見ることができるようになった**と思います。また、様々なトピックを扱うため情勢や社会問題に目を向けることができ、それに関する課題が出るので**苦手分野に対しても自分の意見を構築する練習**になりました。



YWCAの礼拝で聖歌隊と歌った後で友人と撮った写真です。

さて、私は就職活動を経て長崎のテレビ局に就職することが決まりましたが、**就職活動において感じた重要なこと**をお話したいと思います。就職活動を通して私が重点を置いたのは、

まずは**自己分析**。次に、**面接**です。SPIなどの勉強ももちろんすべきですが、知識を入れるだけなら誰でもできるかもしれません。ですが、自分が生きてきた人生、その中で育んだ価値観、

趣味や特技、行ってきた活動など「自分だけの色」というのは他の人に無い特色でありアピールしていくべきであると思います。自己分析に関しても、面接に関しても、自分の

ことをよく知らないとい何も語れません。どんな仕事をしたいか、どんな会社に入りたいか、そして自分がどうなりたいかは、自分と向き合う時間を大切にすることで見えてくると思うのです。そしてそれを考えるとき、見つけ出した「自分」を発信していくときに、**活水の4年間の学習で得た「自己表現力」**が役に立ちました。



学長特別賞を授与したときの授賞式の写真です。

実は私は**中国の伝統芸能「変面」を演じる演者**です。活動を先生方に許していただき、4年間学業との両立をしてきたのですが、**活水独自の生徒一人一人を大事にする校風**があったからこそ成し遂げられたと思います。そしてその活動は就職活動にも役に立ち、私の個性として生かされるようになりました。活水は、勉強をしながらも「個性」を育むための環境もあり、誰もが夢を追うことができる場所だと思っています。生徒の皆さんには是非、自分の可能性を広げるための第一歩を活水と共に歩んでほしいと思います。



2023年のランタンフェスティバルで変面ショーに出演しました。



湊公園でのゲリラライブショーにも出演しました。

英語学科での大学生活は、とにかく「挑戦」の4年間でした！

## 2022年度卒業生 山口 未侑さん (活水高等学校出身)からのメッセージ (長崎県公立中学校に就職が内定しました。)



イングリッシュサマーキャンプにスタッフとして参加しました。

英語学科での大学生活は、とにかく「**挑戦**」の4年間でした。英語学科での学びはもちろんですが、多くの**ボランティア活動、教職課程での経験、教員採用試験**など様々なことに挑戦してきました。

1年生の時、**大村市のイングリッシュサマーキャンプにスタッフとして参加**しました。小学生とALTの先生の間にお助け係として入りました。小学生の子どもたちが「英語って楽しい!」と間違いを恐れず英語を話す姿やキャンプを通して成長した姿にとっても刺激を受けました。

2年生の頃からコロナ禍へ突入し、留学に挑戦することを断念しました。そこで、**オンライン留学プログラムに挑戦**しました。パソコンを開くだけでカナダの大学と繋がり、海外の留学生と一緒に授業を受けました。ディスカッションをしたり、プレゼンテーションをしたりなど、日本語を一切使わず過ごしました。海外の先生の授業の仕方や生徒との関わり方を身をもって経験することができた中身の濃い2週間でした。

3年生では、**平和祈念式典に参加される駐日大使を随行する業務に挑戦**しました。滅多に接することがない政府関係の方と英語で話したり、通訳を行ったり自分の英語力を思う存分試すことができました。言いたい事を上手く話せずに悔しい思いをすることもありました。この経験により英語と向き合い、自分の英語学習のモチベーションに繋がりました。

4年生の**教育実習**では、実際に中学生を目の前に授業を実践する機会がありました。実際に授業を行ってみると、自分ではわかりやすく説明しているつもりでも生徒が理解できていなかったり、生徒の興味や関心をどのように引けば良いのか難しいこともありました。しかし、実習期間で生徒と関わり「未侑先生の授業楽しかったです!」と言ってもらえたり、ちょっとしたことで生徒の成長と一緒に喜べる教員という仕事にやりがいを感じることができました。

**教員採用試験**では、自分のメンタルを保ちながら受験勉強に励むことができました。全くやる気が出なかった時でも、親身になって話を聞いてくださる先生方・先輩・友人に支えてもらい合格することができました。

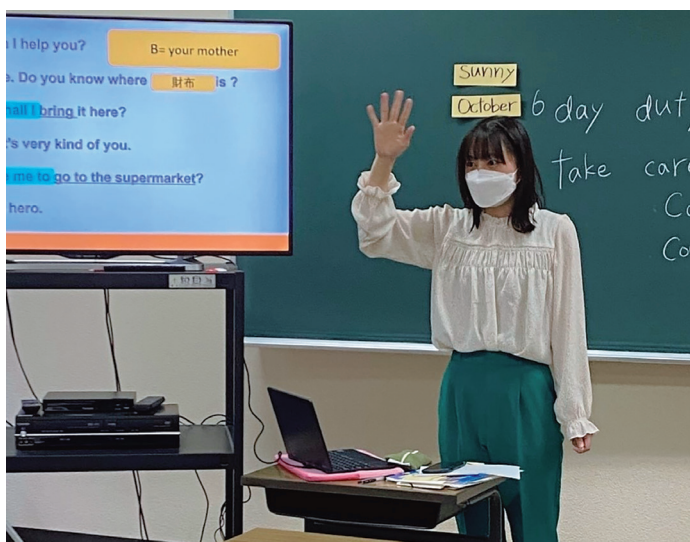
他にも**外国にルーツをもつ子どもの日本語支援、長崎県教育委員会主催のイングリッシュフォーラムのプログラムサポート、活水女子大学高校生英語プレゼンテーション大会の司会**などたくさんの経験をさせて頂いて、私の大学生活は充実したものになりました。この4年間は私の宝物です!これからも周りに感謝することを忘れず、どんなことにも挑戦していきたいと思えます。



長崎県教育委員会主催のイングリッシュフォーラムに学生スタッフとして参加しました。



実習先の生徒のみなさんからもらったメッセージです。



英語の模擬授業をしているところです。